



ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより

令和7年5月7日発行 第2号

学校教育目標『ひとりだちする生徒』

TEL049-222-2753 Fax049-229-1231

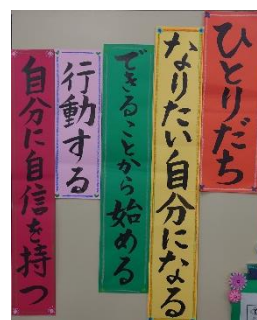
新年度が始まって、一ヶ月が経ちました。

校長 肥留間 智子



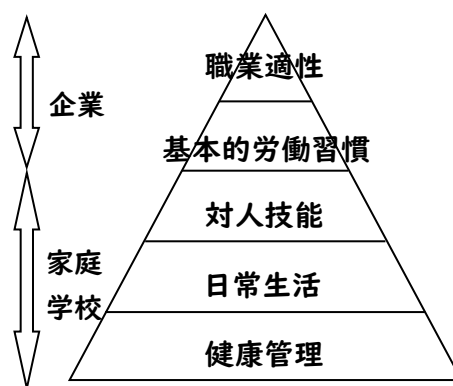
4月8日に令和7年度が始まって、一ヶ月が経ちました。1年生は、本校での学校生活の様々な活動について、緊張しながらも先輩たちの立ち振る舞いに懸命についていこうと真摯に取り組んでいます。中でも朝運動では、細かい体の動きに気をつけながらラジオ体操を行ったり、5分間走ではカウンター片手に自分のペースで力強く走ったりなど、積極的に活動している姿にたくましさを感じます。2、3年生は、先輩として後輩たちのお手本となるように自分の行動に責任を持って活動しています。時には、迷っている人に対して優しく声をかける姿も見られ、学校全体を温かい雰囲気にしてれています。

5月1日の講話朝会では、今年度の「ひとりだち」に向けてのキーワード「なりたい自分になる」について話しました。「なりたい自分」とは、常に「目標、めあてを持つこと」です。毎日の活動の中で、常に「こうしたい」「こうなりたい」という気持ちを持つこと、それに向かって行動することです。小さな「できた」の積み重ねが、大きな「できる」という目標につながります。「できた」ことは間違いなく事実で、そんな自分に自信を持ってほしいと思っています。



さて、大型連休が終わり、この一か月間全力で頑張ってきた生徒たちの心身の健康管理が気になります。「就労準備性のピラミッド」では、「家庭」と「学校」が協力して「ひとりだち」の土台である「健康管理」を育成していきます。生徒たちの細やかな変化を見取りつつ保護者の皆様との連携を取り、情報を共有しながら個々の生徒の特性に寄り添った指導、支援をして参りたいと思います。連絡帳や電話だけでなく、直接お話しできる面談も計画されておりますので、何か気になることがございましたら遠慮なくご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

【就労準備性のピラミッド】



★「余暇」って？



職業生活において、自分自身の健康管理や仕事以外の時間「余暇」の過ごし方について考えることは大切なことです。学校では、「運動」「情報」「ものづくり」「表現」の4つのグループに分かれて週1回程度の「余暇」を楽しみます。校内での余暇以外にも、公共機関で行っている講座やスポーツなどにも参加できるよう声掛けをするなど、社会と関わる機会を作るようにしています。